

掲示板のことば

名を呼ぶ
それは
いのちの
意味を
伝えること

2021. 11

知らないことが多い、この広い世界にあって、お互いに名前を呼び合うということには、いまここに生きているいのちの存在を認め合うということを感じています。それは、ご近所の〇〇さん、お友だちの〇〇くん、家族、同じです。

名前は社会的な呼び名です。他の誰かとは違うあなたを呼ぶ名です。その名前はどのようにつけられているのでしょうか？

僕は、子どもたちの名前は妻と一緒に考えましたが、「こんなふうに生きてほしい」「こんな人になってほしい」という、親の願いを呼びかける名前にしました。その名を呼ぶたびに、私たち親がその名に込めた願いを確かめるように、決して忘れることのないようにと思って、名前をつけたことを記憶しています。

子どもたちが大人になり、自分の生まれた意味と、生きる方向を、その名から感じ取ってくれたら嬉しく思います。

名前には、いまここに生きている私の存在の意味が込められていると思います。名前を呼ばれば、私がここにいる、ということが実感できます。誰も呼ぶ人がいなければ、孤独です。ここにいる、ということを感じられないかもしれません。

でも、いのちあるもの全てに呼びかけるはたらきがあります。それは、「南無阿弥陀仏」です。阿弥陀如来は、私たちに、「南無阿弥陀仏」と呼びかけます。

「南無阿弥陀仏」は、私たちのいのちの名前なのだと。親と譬えられる阿弥陀如来が、私たちに「ほんとうに生きてほしい」と願い、誰もが等しく「いまここに生きている」と呼びかける名前です。

この声に応えます、「はい、私の名前は南無阿弥陀仏です」と。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹

YouTubeに「名前を呼ぶよ」という短い法話の動画を配信しています。
SUPER BEAVERというアーティストの楽曲「名前を呼ぶよ」を聴いて感じた
ことをお話ししています。
よろしかったらご視聴ください。

YouTubeチャンネル 「語り場 光明寺」

<https://youtu.be/wL4vS1onwy8>



チャンネル登録をお願いいたします。
また、高評価👍 もお願いいたします。